

特集2

新春トップセミナー

日時：2020年1月28日(火) 16:00～19:30

会場：ヴィアーレ大阪 4階 大ホール

主催：一般社団法人 生産技術振興協会、一般社団法人 大阪大学工業会
後援：近畿経済産業局、大阪商工会議所、関西経済連合会、関西経済同友会、
NPO 法人 エコデザインネットワーク、(公社) 2025年日本国際博覧会協会



開会挨拶

(一社) 生産技術振興協会 理事長 堀池 寛

皆様、明けましておめでとうございます。本日は「新春トップセミナー」にご出席いただきまして、ありがとうございます。生産技術振興協会は大阪大学と関西を中心とする産業界との協力によって科学技術を創出し、それらを通して産業技術の発展に貢献することを目的に、昭和24年1月31日に松下幸之助氏の希望によって設立されました。あわせて「生産と技術」という機関誌を刊行、その後に事業を拡大し、昭和61年には事業企画委員会、平成22年にはアライアンス委員会が発足しました。大学院生の海外留学支援事業や外国の研究者を招いての講演、あるいはハイテク推進セミナー、フレンドシップサロンなど、さまざまな活動を行っております。中でも「新春トップセミナー」は大阪大学の先生方、研究者、そして本日出席されている産業界の皆様との交流、情報交換の場として毎年この時期に開催させていただいております。私は以前、国の原子力に

関する研究所に在籍し、新しい大型実験装置の設計開発の仕事に就いておりました。その時に新しい研究成果を生み出すための装置をどうやってつくのかという課題があり、最新の製造設備を持つ企業を探し、そこで世界にも無いような最新の機械をつくることにも携わりました。最新の機械をつくるにしても、製造技術の面からも検討しないとできないことを体験いたしました。つまり産業界の技術と大学における最新の研究成果とが、手に手を携えて新しい領域を求めていくことが重要であり、本日のテーマでもあるサステナビリティ分野を含めてますます重要になってくると思います。本日のように研究者と企業の方々が一堂に集まることは、大変意義のあることだと思っています。昨今、国連などの場で持続的な開発目標、いわゆるSDGs、あるいは地球温暖化問題に対するパリ協定などを含め、サステナビリティに関する議論が多面的に進められています。大学における革新的な技術開発、研究開発に基づきながら、これらのテーマについて情報発信をしていくことは、当協会の新しい目標であると考えております。本日は「2025年大阪・関西万博～いのち輝く未来社会のデザインの実現に向けて～」をテーマとし、2025年日本万国博覧会協会事務総長の石毛博行様、そして関西経済同友会代表幹事の池田博之様に講演をしていただきます。皆様におかれましては、この機会にいろいろな情報交換をしていただき、産業界の発展に寄与していただけるのなら、それは当協会の目的でもあり、大変ありがたいことだと存じます。簡単ではございますが、ごあいさつとさせていただきます。どうもありがとうございます。